

「こころ」と「いのち」みんなで支え合う郡上

郡上市いのち支え合い虐待防止推進協議会

郡上市では、自殺予防や児童虐待・DV防止、高齢者虐待防止、障がい者虐待防止に向け「郡上市いのち支え合い虐待防止推進協議会」を設置しています。さまざまな関係機関や団体が連携し、未然防止に向けたネットワーク作りを進めています。

つながって支え合おう！

自殺や虐待の背景には、さまざまな問題が関係しています。その中でも「孤立」は大きな要因で、他者との関係が断たれ地域や社会から孤立することで、自殺や虐待の要因になることがあります。誰もが生きがいや楽しみを持って生活できるように、地域のつながりや支え合いを大切にしましょう。

市では、心の健康づくりや自殺予防、児童・高齢者・障がい者への虐待防止に向け相談や啓発活動を行っています。

アルコール問題に注目

「アルコール」と「うつ状態」は密接な関係があるといわれています。海外では、国民1人当たりの年間アルコール消費量が1リットル増加すると、男性の自殺死亡率が15〜16%増加するという報告があります。日本においても「アルコール問題」は、働き盛りの中高年に与える影響は大きく、睡眠障害やうつ状態を招く恐れがあります。

▼追い詰められたときでも、お酒を飲まないようにする

▼眠れないときは、専門医に相談

▼お酒は2合までにする
つらい時の飲酒は危険です。

大切な命を守るために

全国では児童虐待で尊い命を奪われる事件が後を絶ちません。虐待を発見した場合、まずは児童の安全を確保し、良好な家庭環境で生活できるように、子ども相談センターや市が中心となって指導や支援を行っています。

また、支援が必要な親子が安全かつ安心して暮らせるように、地域の関係機関が情報を共有し、連携を図りながら対応しています。

高齢者虐待の防止

高齢者人口が増える中、介護が必要な人も増えていきます。また、家族のあり方が多様化し、一部の家族に介護の負担が増える傾向があり、介護負担が増えることにより、虐待が起る心配があります。

地域包括支援センターが中心となり、虐待の早期発見・早期対応ができる体制づくりを地域住民や各関係者とともにすすめています。

偏見や差別をなくそう！

「障がい者虐待」というと、生命に関わるような、暴力や悪質な行為ばかりが連想され、身近な問題ではないと感じる人もいるかもしれません。

しかし、「障がい者虐待」は日常の生活の中に潜んでいます。それは、社会における「障がいのある人」への偏見や差別ばかりでなく、無関心といったことが大きく関係しています。

「障がい者虐待」は、人間の尊厳を脅かす行為であり、社会に暮らす全員が「見逃さない・見過ごさない」意識を持つことが求められています。

郡上市ではNPO法人「生活支援ネット・ぐじょう」と協力して、未然に障がい者虐待を防止するために研修や啓発活動を行っています。



▲市内大型店舗前で街頭啓発を行う様子

心の相談

- ◆こころの相談
- ◆【関係者】(要予約)
- ☎0575・33・4011
- ◆臨床心理士の心の健康相談
- ◆【健康課(要予約)】
- ☎88・4511
- ◆健康相談(保健師による相談)
- ◆【健康課(面接は要予約)】
- ☎各振興事務所振興課
- ◆医療生活相談(登録必要)
- ◆【地域生活支援センター(すいせい)】
- ☎79・2304

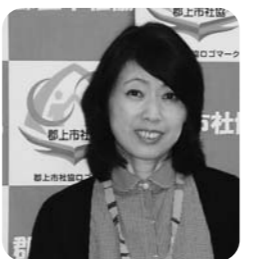
労働問題、人権、女性問題

- ◆岐阜八幡労働基準監督署
- ☎65・2101
- ◆岐阜地方労務局八幡支局
- ☎67・1411
- ◆岐阜県女性相談センター
- ☎058・274・7377

多重債務・消費生活等問題

- ◆無料法律相談
- ◆【社会福祉協議会(要予約)】
- ☎88・9988
- ◆警察安全相談
- ◆【郡上警察署】
- ☎67・0110
- ◆弁護士による有料法律相談
- ◆【県弁護士会(要予約)】
- ☎058・265・0020

新たな相談窓口を紹介します！



▲主任相談支援員の池戸さん

ふくし相談支援センター

生活困窮者自立支援法に基づく相談窓口を開設しました。生活や福祉に関する問題解決に向けてお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。

郡上市社会福祉協議会地域福祉課(大和庁舎2階)
☎88・9988

NPO法人生活支援ネット・ぐじょう



▲相談員の山下さん

身体・知的・精神のそれぞれの障がい相談を総合的に行うため、同法人が設立され活動しています。

配偶者からの暴力を根絶

配偶者の暴力(DV)は、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害です。DVは、家庭内で行われるため、外部からの発見が困難で潜在化しやすく、しかも加害者は罪の意識が薄いという傾向にあります。このため、周囲も気付かないうちに暴力がエスカレートし、被害が深刻化しやすいという特性があります。

「いかなる暴力も許されるものではない」という共通認識を市民一人ひとりが持つことが必要です。

協働事業を紹介します

▼保健所と協働で講演会を開催
8月26日、関保健所、郡上ケアマネジャー連絡会による多職種合同研修会を実施しました。

「精神疾患の理解と対応」として慈恵中央病院の稲垣先生より、精神疾患の病態と、病態によつては自殺等の心配があることについて、講義をお聞きしました。



精神疾患の病態と、病態によつては自殺等の心配があることについて、講義をお聞きしました。

アルコール依存症の疑いを自己チェック

- 今までに飲酒を減らさなければいけないと思ったことがありますか。
 - 今までに飲酒を批判されて腹が立ったりイラだったりしたことがありますか。
 - 今までに飲酒に後ろめたい気持ちや罪悪感を持ったことがありますか。
 - 今までに朝酒や迎え酒を飲んだことがありますか。
- ※2項目以上当てはまればアルコール依存症が疑われます。

アルコール依存症講演会を開催します

おいしいお酒も、飲み過ぎると依存症になることがあります。また、自殺や児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待につながることもあります。

これからも楽しくお酒を飲むためにも依存症について学んでみませんか。

記

- ▼日時：11月4日(水)午後1時30分～
- ▼場所：市役所大和庁舎 防災研修室
- ▼講師：臼井潤一郎氏
(医療法人清仁会地域支援部長)
- ▼入場料：無料(申し込み不要)
- ※この講演は、市の民生委員児童委員協議会との合同開催です。
- ▼問い合わせ先：健康福祉部健康課(大和保健福祉センターやまつつじ) ☎88-4511

市内こころの医療機関

- ◆(相談は有料)
- ◆慈恵中央病院
- ☎79・2030
- ◆郡上市民病院心療内科
- ☎67・1611

